

仕様書

1 事業名

英語教育強化に向けた学習支援ツール導入等事業

2 目的

英語教育においては、「聞くこと」「読むこと」「話すこと（やり取り）」「話すこと（発表）」「書くこと」の五つの領域にわたる言語活動を通じて、コミュニケーションの基礎となる資質・能力を育成することが重要である。

このような中、集団指導が中心となる学校の授業では、生徒の発話等の言語活動に対して、即座にフィードバックを提供することが難しく、「話すこと」や「聞くこと」の活動の機会確保や質の向上を図ることが難しい。

本事業では、英語の生成AIサービスを活用し、言語活動の練習量と質を飛躍的に向上させるとともに、精度の高い即時フィードバック、教員による課題作成・配信機能、学習状況のモニタリング機能等を通じて、個別最適な英語学習の支援を実現するとともに、他国の学校との交流や共同学習等の実施により、英語教育の強化を図ることを目的とする。

3 履行期間

契約日から令和9年3月31日

4 英語の生成AIサービスのライセンス有効期間

令和8年5月1日～令和9年3月31日

5 納入場所

京都府教育庁指導部教育DX推進課

6 業務内容

(1)英語の生成AIサービスの導入及びアカウントの管理

- ・京都府教育委員会（以下「府教委」という。）が作成する別紙「アカウント配分表」に基づき、各学校の生徒が使用する利用者アカウント、各学校の教員が使用する教員用アカウント、各学校が使用する利用者アカウント及び教員用アカウントを統括する学校管理者用アカウント、府教委が使用する利用者アカウント、教員用アカウント及び学校管理者用アカウントを統括する府教委管理者用アカウントを配付すること。
- ・配付にあたっては、各アカウントに固有の初期ID及びパスワードを設定し、別紙「アカウント配分表」に基づき、学校ごとのアカウント管理表を作成し、Excelファイル形式で提供すること。
- ・教員用アカウント、学校管理者用アカウント及び府教委管理者用アカウン

- トは、府教委から追加配付の依頼があった場合、無償で配付すること。
- ・学校管理者用アカウントで、利用者アカウントのパスワードを管理できること。

(2)各教員への研修の実施

- ・教員が円滑に英語の生成 AI サービスを活用できるよう、活用方法に関する資料及びオンデマンドで視聴可能な動画コンテンツを提供すること。資料及び動画には、基本操作、一般的な授業での活用を含めること。
- ・教員の習熟度向上させるため、必要に応じて、各学校において現地研修を実施すること。

(3)リスニングテスト教材の提供

- ・生徒の英語のリスニング能力の習熟度を確認するため、英語の生成 AI サービス導入前後でリスニングテストを実施することから、必要なリスニングテスト教材を提供すること。
- ・リスニングテスト教材は、英検3級レベル、英検準2級レベル、英検2級レベルに対応した音声及び問題セットの教材を用意すること。
- ・各レベルについて、複数の問題パターンを含め、MP3形式の音声ファイルと問題用紙を提供すること。

(4)会議等の実施

- ・英語の生成 AI サービス導入後も事業を円滑に推進するため、府教委が必要に応じて会議の開催を求めた場合、速やかに応じ、会議に参加すること。
- ・英語の生成 AI サービスを効果的に活用できるよう、活用事例等、継続的に情報提供を行うこと。

(5)他国の学校との連携・調整

- ・学校からの要望等により、他国の学校との交流や共同学習を希望する場合は、無償で必要な調整を行うこと。
- ・調整にあたっては、交流の目的や内容、双方の学校のスケジュール等を確認し、必要な事項について相手校との連絡・協議を含めてを行うこと。

7 各アカウントの利用予定数量

- ・利用者アカウント：9,450 アカウント
- ・教員用アカウント：400 アカウント
- ・学校管理者用アカウント：51 アカウント
- ・府教委管理者用アカウント：10 アカウント

8 各アカウントにおける機能要件

(1)利用環境について

- ・独自の音声認識システム等による高精度な音声分析を行える環境を有し、利用者の音声入力に対して英語力向上に繋がる精緻で多様な即時フィードバックがされること。
- ・提供されるサービスは、インターネット経由でアクセスするクラウド型サービスであること。
- ・対応ブラウザは、Microsoft Edge 最新版、Safari 最新版、Google Chrome 最新版であること。
- ・対応 OS は、Windows 10、Windows 11、MacOS 10.15 以上、ChromeOS 102 以上であること。
- ・スマートフォンの対応 OS は、iOS 及び Android の最新版であること。
- ・付与された各アカウントは、校内外においてサービスへアクセスし、利用できるライセンスであること。
- ・原則、契約期間内の 24 時間利用可能であること。ただし、保守等の予定された停止について、この限りではない。
- ・データ管理環境について操作端末内ストレージ以外に、クラウド環境等を活用してデータを保存できること
- ・利用者認証により、どの操作機器からでもデータを利用できるようにすること。
- ・データのバックアップについては、日次で 30 日間以上の期間保有ができる
- ・サーバシステム環境は冗長が取れており、单一サーバではない構成となっていること。

(2)利用者アカウントの機能について

利用者アカウントの機能については、以下の機能を有しているものであること。

(ア) 単語・熟語学習機能

- ・音声入力、音声出力に対応していること。
- ・発音練習では、課題配信された単語や熟語を音読した際に、正しく発音ができていない部分を明示するだけでなく、音素（母音・子音）単位で発音を判定し、発音できていない音素については舌の位置や唇の形等具体的な調音方法の矯正指示を日本語で提示できること。また、音素単位で正しい発音を再生できること。
- ・利用者は、課題配信された単語や熟語について、自身が入力した音声、正しい発音の音声を再生・確認できること。
- ・語彙学習では、課題配信された単語や熟語について、模範音声の再生、語彙の意味の確認問題の自動作成、リスニング問題の自動作成、スペル確認問題の自動作成等語彙力の定着を図る課題の自動作成ができるこ

と。

(イ) 文章音読練習機能

- ・文書音読練習機能は、30分以上の音声入力、音声出力に対応していること。
- ・配信された課題文章を音読中に途中で止まる、失敗してやり直す等の場合、何度もやり直すことができる。
- ・音声入力後、音読課題の本文中の全ての単語について、正しく発音ができていない部分を明示するだけでなく、音素（母音・子音）単位で発音を判定し、発音できていない音素については舌の位置や唇の形等具体的な調音方法の矯正指示を日本語で提示できること。また、音素単位で正しい発音を再生できること。
- ・音声入力後、個々の単語の発音についてだけでなく、音読結果全体を通しての課題と改善点について、発音、イントネーション、流暢性等複数の観点で評価を行い、日本語による評価結果とアドバイスを表示できること。

(ウ) 生成AIとの英会話機能

- ・音声入力に対応していること。
- ・配信された課題に基づいて、生成AIを活用することで、実際のコミュニケーションに近い英会話練習ができること。(英会話の内容が、配信された課題から逸れた話題となっても、生成AIを活用することで自由な英会話を継続できること。)
- ・生成AIとの英会話練習は、回数制限無しに会話を継続できること。
- ・利用者が、生成AIからの回答音声の速度を自身のレベルに応じて変更できること。また、速度変更は複数段階の細かな調整が可能であること。
- ・利用者が生成AIとの英会話で返答に困った場合、ヒントや助けとなるような例文やフレーズを表示できること。
- ・英会話終了後、会話の結果全体を通しての課題と改善点について、総合的な評価、発音、語彙、文法等複数の観点で評価を行い、日本語による評価結果とアドバイスを表示できること。
- ・生成AIとの英会話機能においては、フィルター機能等により会話が不適切な内容とならないようになるとともに、個人情報が生成AIの学習データとして利用されないように保護されること。

(エ) スピーチ練習機能

- ・音声入力した英語のスピーチを即時分析して評価、採点結果とともに改善に向けた日本語でのアドバイス、CEFR、IELTS、TOEFL等国際指標での診断予測を表示できること。

- ・音声入力した英語のスピーチの分析結果を、発音、イントネーション、流暢さ、文法、語彙等の項目別に表示できること。
- ・音声入力した英語のスピーチは、文字起こしされて文章として表示できること。また、文法の間違いは訂正例、語彙についてはスピーチレベルに合わせた言い換え例を示すことができること。

(オ) 学習状況の記録機能

- ・利用者の利用状況や学習状況（学習日・評価結果・学習時間・音声録音データ等）を記録できること。

(カ) 発音検索と自主練習課題作成機能

- ・利用者が自分で単語や文を入力することで、発音練習ができること。
- ・発音練習では、音声入力後、正しく発音ができていない部分を明示するだけでなく、音素（母音・子音）単位で発音を判定し、発音できていない音素については舌の位置や唇の形等具体的な調音方法の矯正指示を日本語で提示できること。また、音素単位で正しい発音を再生できること。
- ・利用者が練習したい単語や文を登録することで、自分だけの発音練習課題セットが作れること。

(3) 教員用アカウントの機能について

教員用アカウントの機能については、以下の機能を有しているものであること。

(ア) 課題の作成・配信機能等

- ・「8. (2)利用者アカウントの機能について(ア)(イ)」に記載された課題を担当するクラスに配信できること。
- ・課題配信は、開始日や開始時間、リマインダーの設定ができること。
- ・「8. (2)利用者アカウントの機能について(イ)」に記載された音読練習させたい文章を入力後、本文学習の前に生徒に発音や語彙を確認させたい単語を英文のレベルに合わせて自動でリストアップする等教員の課題作成を支援する機能を有すること。
- ・課題の配信取消・削除ができること。

(イ) 生徒の学習状況確認機能

- ・配信した課題については、当該クラスの成績や完了率、取り組んだ学習者ごとの利用状況や学習状況（学習日・評価結果・学習時間・音声録音データ等）を確認でき、それらを CSV 形式で出力できること。
- ・配信した課題については、各生徒の成績や完了率、取り組んだ学習者ごとの利用状況や学習状況（学習日・評価結果・学習時間・音声録音データ等）を確認でき、それらを CSV 形式で出力できること。

タ等) を確認できること。

- ・学習状況等については、グラフ等を用いて視覚的にわかりやすく表示し分析できること。
- ・「8. (2)利用者アカウントの機能について(ウ)」に記載された英会話機能について、生徒の英会話の発話内容をテキストで確認できること。

(ウ) その他の機能

- ・利用者アカウントの機能が使用できること。
- ・利用者アカウントの作成・修正・停止が行えること。

(4) 学校管理者用アカウント

学校管理者用アカウントの機能については、以下の機能を有しているものであること。

(ア) 学校全体の統括・管理機能

- ・当該学校の教員用アカウントを統括し、管理できる権限を有していること。
- ・当該学校の学習者・クラス・教員の追加削除ができること。
- ・当該学校のすべてのクラスの課題を作成・配信ができること。
- ・当該学校で配信されている課題の全体の成績や完了率、取り組んだ学習者ごとの利用状況や学習状況（学習日・評価結果・学習時間・音声録音データ等）を確認でき、内容がグラフ等を用いて視覚的にわかりやすく表示し分析できること。

(イ) その他の機能

- ・教員用アカウントの機能が使用できること。
- ・教員用アカウントの作成・修正・停止が行えること。

(5) 府教委管理者用アカウント

府教委管理者用アカウントの機能については、以下の機能を有しているものであること。

(ア) 全ての学校の統括・管理機能

- ・全ての学校のアカウントを統括し、管理できる権限を有していること。
- ・全ての学校の学習者・クラス・教員の追加削除ができること。
- ・全ての学校の配信されている課題の全体成績や完了率、取り組んだ学習者ごとの利用状況や学習状況（学習日・評価結果・学習時間・音声録音データ等）を確認でき、内容がグラフ等を用いて視覚的にわかりやすく表示し分析できること。

(イ) その他の機能

- ・学校管理者用アカウントの機能が使用できること。

(6) その他

- ・契約期間中に新しいバージョンがリリースされた場合、無償でアップグレードが可能であること。
- ・提供アカウントは1日あたりや1ヶ月あたり等の発話回数、対話時間、AIが生成する回答文字数（トークン数等）に制限を一切設けず、契約期間中は、全利用者が無償で、個々の学習ニーズに応じた無制限のアウトプット練習を行える環境を提供すること。
- ・セキュリティの観点から各アカウントで入力された情報は、英語の生成AIの学習データとして利用されない仕組みであること。また、学習に利用されるデータについては、氏名等の直接識別子を削除し、匿名化処理を施して、個人を特定できない形式に変換できること。

9 各アカウントのサポート要件について

- ・通常の使用で発生した故障に対応する保守体制を有すること。
- ・障害発生後24時間以内（ただし、土日祝日及び本自治体の所定休日を除く）に対応できること。
- ・万が一、システム不具合や障害が発生した場合、速やかに両者で解決策を講じること。

10 アカウントの継続利用について

本契約終了後、府教委が所管する府立高校において、1年以内に利用者負担等により継続してアカウントを利用したい場合は、アカウント情報の引き継ぎを行うこと。

11 非機能要件について

非機能要件については、以下の2点に留意すること。

(1) 京都府情報セキュリティ対策基準等の遵守

- ・京都府情報セキュリティ対策基準、京都府立学校情報セキュリティ対策基準及び京都府立学校情報セキュリティ実施手順に留意すること。

(2) 第三者機関によるセキュリティ診断

- ・毎年、第三者機関によるセキュリティ診断を実施し、診断結果の報告と実施証明を府教委に提出すること。診断結果から問題があると府教委が判断した場合は、保守の範囲内で改修を行うこと。

12 クラウドサービスの要件について

本業務で受託者が提供するクラウドサービスが、以下の要件を全て満たすこと。

(1) データセンターの所在について

- ・国内法適用のため、国内にデータセンターを持つクラウドサービスであること。
- ・クラウドサービスは日本の各種法制度の下、運用がなされること。

(2) 導入実績について

過去3年以上に渡り、同一の国若しくは独立行政法人又は地方公共団体若しくは地方独立行政法人におけるAIを活用した英語教育支援のサービスの導入実績のある製品であること。また、以下に示すセキュリティに係る第三者認証・監査を全て満たしていること。

- ・クラウドサービス運営のセキュリティ基準・体制について、ISO 27001又は同等以上の認証を受けていること。
- ・クラウドサービス運営のデータ管理について、(サーバ運営を外部に委託している場合は委託先も含めて) ISO 24017又は同等以上の認証を受けていること。
- ・クラウドサービス運営のセキュリティ基準・体制について、SOC2 Type2レポート又は同等以上の国際的なセキュリティ基準を満たす、第三者機関による監査を受けていること。

13 納品物

納品物については必要な時期に応じて納品すること。なお、以下の定めのない事項であっても、業務の履行上必要と認めたものについては、府教委と協議の上、提出すること。

納品物は電子データで納品することとし、ドキュメント類については、Microsoft Excel等で作成する等、府教委が容易に確認作業等を行えるよう考慮すること。

納品物一覧については、以下のとおりとする。

納品物名	内容	納品期限
学校ごとのアカウント管理表	学校ごとの各アカウントに割り当てられた固有の初期ID及びパスワードの一覧表	令和8年4月30日まで
各教員への研修資料	活用方法に関する資料又はオンデマンドで視聴可能な動画コンテンツ	契約締結後2週間以内
リスニングテスト教材の提供	英検3級レベル、英検準2級レベル、英検2級レベルに対応した音声及び問題セットの教材	令和8年4月30日まで
セキュリティ体制診断の監査レポート	SOC2 Type2レポート又は同等以上の国際的なセキュリティ基準を満たす第三者機関による監査	2025年以降のレポートを契約時に提出

業務完了報告書	契約履行完了に伴う業務完了報告書	令和9年3月31 日まで
---------	------------------	-----------------

14 その他

受託者は、関係法規を遵守すること。

本仕様書は、受託者に求める業務の最低限の基準を示したものである。したがって、本仕様書に記載されていない事項であっても、本委託業務を行う上で必要と見なされる事項については、府教委と協議して、受託者の責任において実施すること。

この仕様書に記載のない事項、又は、本業務を遂行していく中で、不具合が発生した場合及び契約内容に疑義のある事項については、府教委と受託者が誠意を持って協議し、その解決に努めていくこととする。

本業務において知り得たすべての情報について、守秘義務を負うものとし、これを第三者に漏らしたり、他の目的に使用しないこと。また、知り得た全ての情報を自己のために使用する場合又は第三者に使用させる場合は、事前に府教委と協議し、承認を得ること。加えて、本業務以外での利用や保存を行わず、当該データが日本国憲法その他法令の適用を受ける環境下にあること。